

スポーツ振興に関する要望書

令和6年12月13日

恵庭市議会スポーツ振興議員連盟

恵庭市長 原田 裕 様

スポーツ振興に関する要望書について

恵庭市においてはスポーツ振興まちづくり条例の制定、夢と健康を育むスポーツ都市宣言から10年が経過しました。現在は恵庭市運動・スポーツ推進計画に基づき、スポーツによるまちづくりが進められていおります。その中で健康志向の上昇による多様なニーズへの対応、子どものスポーツ環境の整備、高齢化やコミュニティの希薄化などへの対応など、様々な施策を展開しているところであります。

しかしながら、今年度、恵庭市スポーツ協会や協会に所属する各スポーツ団体との意見交換、市内スポーツ施設の現地調査を実施する中で、駒場体育館の廃止や各スポーツ施設の老朽化に伴うハード面での課題、スポーツ推進に関わる人材不足や高齢化などのソフト面の課題が顕在化しており、今後において限られた予算の中で市民ニーズに応え、持続的なスポーツ環境の整備を計画的に進めていく必要があることを強く実感致しました。

スポーツ振興を推進していくことは、健康で活気溢れるまちづくりにおいて大変重要であり、本市の立地や環境、気候状況を活かした施策を進めることで、本市の発展において大きな可能性があると考えております。

スポーツ振興まちづくり条例、スポーツ都市宣言の理念を生かし、活力に満ちた恵庭のまちづくりを進めるため、ここに要望書を提出致します。

原田市長に於かれましては、要望の実現に向け、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月13日

恵庭市議会スポーツ振興議員連盟
会長 柏野 大介

要 望 事 項

1 市内スポーツ施設の整備

市内スポーツ施設は整備から年数が経過し、老朽化が著しいことから、計画的な整備、改善に努めること

2 総合体育館の大会使用料の見直し

総合体育館においては特に子どもの大会が開催しやすくなるよう大会使用料の見直しを行うこと

3 指導者の育成支援

現状においては指導者の高齢化や担い手不足が顕著であることから、指導者の育成に支援を行うこと

4 スポーツ体験の機会充実

子どもたちが広くスポーツに取り組めるよう、スポーツを体験できる機会を充実させること